

2019年4月25日

報道関係者各位

エアロセンス 株式会社

災害現場の上下水道整備に AEROBO ソリューションを活用 —1週間以内に工事前作業を完了させ、施設再稼働に貢献—

この度、エアロセンス株式会社（東京都文京区、代表取締役：谷口恒、以下エアロセンス）が開発・製造・販売している AEROBO® Marker（エアロボマーカー：GPS 搭載対空標識）を活用した AEROBO®測量 2.0（AEROBO®（産業用日本製ドローン）、AEROBO®マーカー、AEROBO®クラウド（高速データ処理クラウドソフト）のパッケージサービス）が、株式会社 NJS（東京都港区、代表取締役社長：村上雅亮、以下 NJS）に採用されました。

NJS は、「水と環境」のコンサルタントとして、上下水道等インフラ事業を行っています。AEROBO 測量 2.0 を導入することで、自然災害による被害を受けた浄水場や関連施設の復旧工事のための、災害状況把握や地形確認等の現場調査業務を迅速に実施し、施設再稼働に向けての支援を行いました。AEROBO 測量 2.0 による現場作業は、従来の現場作業の時間を大幅に短縮し、災害現場において実効性のある技術となっています。

詳細は、下記 URL ページをご参照ください。

<https://media.aerosense.co.jp/case-0048>

<AEROBO 測量 2.0 を活用し、災害の被害状況を調査>



AEROBO®（エアロボ）はエアロセンス株式会社の登録商標です。

【お問い合わせ先】エアロセンス株式会社 (www.aerosense.co.jp)

東京都文京区小石川五丁目 41 番 10 号

TEL: 03-3868-2551、Email: contactus@aerosense.co.jp